十四日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵　税 金十五錢
□一　部 實金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
發行所 福島縣平市田町十六番地 磐城毎日新聞社
發行編輯 發印刷人 森合英

維新的時性の中には必ず傳統に還れといふ復古主義が重要な役割を演ずるのが常である

（上泉秀信）

閼伽井嵐

青年團解散と基金處分問題

武藏山人

青壯年團の結成に際し平市內の舊青年分團は何れも解散の議を進めつゝあるが、各分團を通じ、問題になつてゐるのは解散に際し、分團の基本金を如何に處分するかにあるやうだ、萬一基本金處分の道を誤れば、新らしく生れる青壯年團に累を及すことにもなり、青年をして正道を誤らしむる結果ともなるから、當時者は愼重を期して善處すべきは論を俟たない、

◇

現在解散した分團の方法を聞くに役員、幹部に記念品を贈呈この費用に充當したもの、或ひは市銃後奉公會へ寄附し、後繼青壯年團へ引繼ぎを決議したものなど殆んど一定してゐないが甚しい分團は解散慰勞會費に全額蕩盡したものさへあると聞くまさか、時局の重大性を忘れ折角貯へた基本金を酒食に費ひ果した分團ありとは信じられないが、事實斯る不心得者ありとせば遺憾に堪へぬ

◇

過般行なはれた青壯年團結成協議會席上市當局は「青年團の解散式等行はず一と言明されたやうである。繁を避ける意味に於て解散式を行なはぬもよい。然し結團式だけ盛んに行つて、解散式を行なはぬことは、所謂「龍頭蛇尾」の觀を與へ思想上にも悪影響を及ぼすものと思ふ、この意味に於て青年團の解散式も盛大に行ひ、發展的解散を堂々と宣言し、新たに生れる青壯年團への協力を要望することがより以上効果的ではあるまいか、各分團がこそ〳〵解散式を行つてゐるのも本部の方針が徹底しないことに起因する

國民學校實踐に際し

大野第一國民學校長　鈴木謙四郎

（三）眞の和は眞實の協力を齎らす之を例示せば

1、附和雷同は無自覺の現れである

2、みだらな擧止は兒童自身の心を亂すものである。かゝる兒童に限つて正しく歩めぬものである

3、齊答は安價な競爭心に發し、自制なき姿となりこれもあやしき足どりの子供となる。

4、自負心の兒童、之に反して卑屈なる子供は附和雷同はせぬが之もあやしき足どりをなす兒童の一種である。

5、等々

往時の自由主義教育乃至は偏知主義教育は正しきに似て非なる個性の伸張であつた場合が多かつた、こゝに錬成教育が叫ばれ兒童性を具さに凝視すると共に微妙な愛情を施しつゝも國家の要望する練磨育成への一途を辿る興亞教育の建設を敢行する所以も玆に存するのである。

三、母性への要望

家庭は子供の搖籃であり、之を搖り動かす原動力は母にあるのであるから、こゝに賢母十ケ條を記して國民學校兒童の母性に贈る事とする。

（一）やさしくて愛情に富める母でありたい

（二）平常心を持して自己の修養に努めんとする母でありたい。

（三）正直にして豆々しく働く母でありたい

（四）子供の教育に熱心なる母でありたい。

（五）子供の個性をよく知らんとする母でありたい。

（六）子供をみだりに叱らぬ母でありたい。

（七）公平にして無私なる母でありたい。

（八）考へ深き母でありたい。

（九）明朗にして機智に富む母でありたい。

（十）健康にして顔の皮よりも手足の皮の厚い母でありたい。

四、結び……再び教師へ

（一）先づ五十人（學級兒童數を指す）の教師たる前に總じて千人（全校兒童數を指す）の教師たれ

（二）而して千人の兒童は同校同時に二十余人の教師を持つことである。

（三）善いと思つた事は何の躊躇もせずに敎師も兒童も即坐に敢行する事である。

足らぬ身と悟りし
吾はひたすらに
紙屑なども拾はん
と希ふ

（完）

他山の石（上）

木下雁次

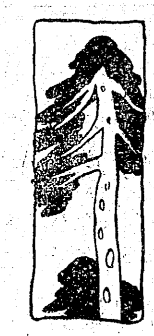
新刊の紹介をする約束をしては見たが、一週間目の今日は御紹介をするやうな材料は何も手に入らない。狹い土地だからそんなに材料がある筈もない。そこで今日は久しく書かなかつた本欄に對する漫語を書く。

「春宵文學話」は相當長いものでやつと終りましたが、田舍者を相手に物をいつてゐるやうな所があつてあまり感心しませんでした。あれは買つた原稿です完全に失敗でした。正直に告白しておきます「磐城の郷土研究回顧」といふ山口彌一郎氏の眞摯な文の後に來たので一層この感が深かつたのかも知れません。

山口氏の文は終りの方で「磐城の郷土研究から得た私の結論は磐城には郷土としての指導精神が缺けてゐるといふことであつた」といふ意味の事を述べてゐるのは卓見であると思ふ。文化協會の仕事の一つは正にこの點である。指導精神の缺けた郷土から指導精神を見つけ出すことである各方面に相當の反響があつた事と信ずる。

◇

「馬目智夫」君が不定律短歌に登場して來ました。熱心な方のやうですからぐん〳〵上達するでせう。大森先生の「春雨物語」は感想や人物紹介で興味深いものでした、編輯の都合で一回分を二回に切つたりして載せたから續き具合の變な所もあつたことゝ思ふ。平市の指導階級の人々が億劫がらずにどん〳〵種々の物を書いて載せて下さる事は大切な文化運動の一つだと思ひます。



「追憶」

（東京）　高田アイ子

靜かな春のひるさがり
林の小徑をたどりつゝ
木立をもるゝ淡き光
君の口よりもれる歌
山のあなたの空とほく
幸すむと人のいふ

春の野原にやさしくも
咲きしすみれを手折りつつ
かるく口ずさむその歌は
あゝわれ人ととめゆきて
涙さしぐみかへりきぬ

おぼろにかすむ春の月
君と歩みしこの道も
今ははるけき思ひ出と
うたびし歌の胸にあり
山のあなたのなほとほく
幸すむと人はいふ

異說赤穗浪士（いせつあかほらうし）

(196)

桃川若燕
（畫）城木喬

伏紗包を狙ふ曲者

『今日は城代大石內藏之助といふお方が久々にて御機嫌伺ひに參つたので御殿でのお物語や、何かで大層下りの時刻が遲れました』

『アヽ赤穗の御城代大石樣がお見えになりましたか』

『紅梅、其方はよく、大石樣を御存知だの』

『イヽエ、これは人傳に伺つたのでございます、大石樣は氣象勝れたお方であると云ふ事を……』

『何の大石樣が器量人などゝは、世間の人達が買ひ被つての噂、眞實を申さば武士の風上にも置けぬやうな犬侍それ故上にも御腹立遊ばして御癩氣が起つたくらゐ』

『マア左樣でございますか。アノ旦那樣、丁度よい具合にお寢衣が温まつて居りますから直ぐお着替遊ばしては如何でございませう……』

『オヽ、では着替へさせうか』

と戸田の局も立ち上つて衣類を着替へようとする、紅梅は寢衣を持つて後に廻つた。戸田の局が帯を解いたときにパタリと落ちた紫の伏紗包、

『マア旦那樣、何かお落し遊ばしましたが……』

『オヽ、これは今云つた大石樣の山科よりのお土產、御前樣へ差上げよとの事だが、御癩氣故、妾が預つてゐるもの、何れ明日にでもなつたらお上のお目に掛けませう』

『では大石樣がお持ちになつた品でございますか』

『それを用簞笥の上の抽斗に入れて置いて下さい』

『畏まりました』

戸田の局は大石から預つた伏紗包は別に大したものではなく、京の土產物でも入つてゐるのであらうと女中の紅梅に渡す。それをじつと見てゐた紅梅は云ひつけられた通り用簞笥の抽斗に藏ひ、戸田の局が寢床に入るのを見屆けると、

『お寢み遊ばしませ……』

と挨拶をして出て行つて了ふ。外は紛々と舞ふ雪の、時折り積む雪の崩れ落ちる音がバサツ〳〵とするのみ。いとゞ物靜かな雪の夜殊に邸內は死んだ如く靜まり返つてゐる、寢床に入つた戸田の局は最前大石に云はれた兄十內や弟幸右衛門の身の上行末を思ひ浮べて氣丈のやうでも弱い女心の涙が先に、ウツラ〳〵としてゐる。それもその筈、血肉を分けた兄弟が亡君の仇を討ちたい一心で命を賭して血刄決戰の眞最中戸田の局は幾度か思ひ直しモヂ〳〵してゐると何やら廊下にミシリ〳〵と云ふ足音『ハテ今頃何の用があつての事であらう……』と其處は老女をしてゐるだけに、注意深く態と空鼾をかき乍ら樣子を覗つてゐると、ツー〳〵と襖を明ける樣子『不思議な事をするもの……』と尚も覗つてゐるとやがて襖を開きそれへ入つて來たのは手拭で面を包んだ女が戸田の側らをソツと通つて用簞笥の方へ行く

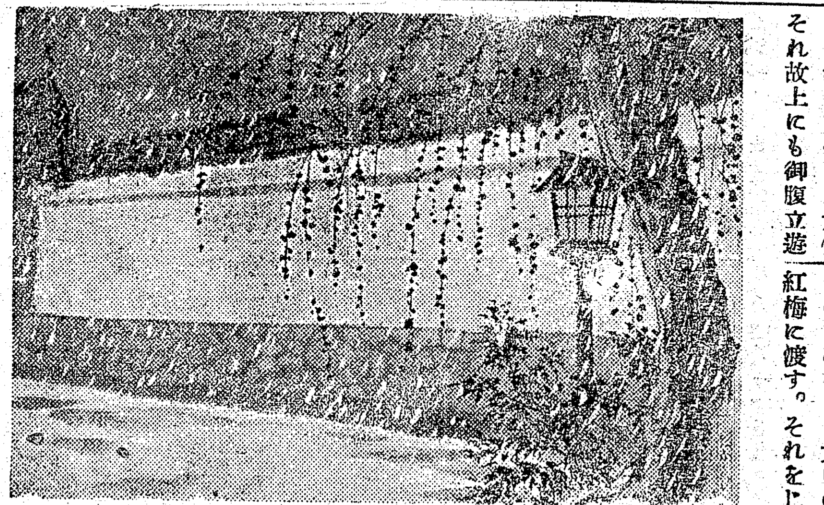
『サテは金を盜みに來たものであらう。よしその儀ならば引つ捕へて呉れよう』

淺野藩中女丈夫と聞えを取つた戸田の局、熟つとその擧動を見て居ると件の女は金戸棚には目もくれず、最前大石から預つた紫の伏紗包みに手を掛け、そつと懐中にすると其儘行かうとする。隙を見てゐた戸田の局、時分はよしと

『ヤツ』

氣合と跳ね起きて躍りかゝり、それへ引き倒さうとする。さはさせじと件の女は死力を盡して振り解くが、体術の得意な戸田の局何時かな離さず暫し揉み合つてゐたが遂に戸田の局の爲めに組み敷かれ、早速に有合ふ腰帶を以て縛る

『何者か、夜陰に及んで他人の物を奪ふとは……』



おでん
平市新田町
電話三三番

おでんとヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ板
建具、建築材
木羽、建築材
便利瓦一式
織田材木商店
平市 電四九〇番
製材工場（大作場） 磐越東線赤井驛前 電二三五

口腔外科
齒科一般
森合齒科醫院
院長 森合芳男
植田町 電話七一番

內科 外科 小兒科 花柳病科
會田醫院
小名濱町上橫町

日本油脂株式會社 特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黑板塗料
一手販賣
㋑磐城水產工業株式會社
小名濱町築港內 電一四四

產科、婦人科
（見習看護婦入用）
井坂醫院
平市田町 電五五九

耳鼻科 咽喉科
▽入院應需△
增田醫院
平市紺屋町 電六五一
醫學博士 增田[illegible]之

三笠燒 色羊羹
味自慢 風味萬點
モナカ屋がお茶受御土產として始めました、どうぞ最中と同樣御贔負を願ひます
平驛前中央通
米屋最中店

耳鼻、咽喉科專門 レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

夏品選てん廉價販賣
パイロット萬年筆
¥2.00以上
御入學に。御祝に……
進物ケース呈上
平市公園前 角忠
佐々木商店
電話二三三番

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD-8號 微電界級 ㊣¥.73.70
ダイナミツク使用眞空管マツダ 12F 47B 57 58
MS-100號 微電界級 ㊣¥.52.60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り
（電呼166）

平市紺屋町 電話六八番
吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄

外科專門
野村外科
手術室完備
小名濱町古港 元津村屋跡

鮨 乙ふ通で
おすし [illegible]
平ミ田小[illegible]

醫院開業
內科 小兒科 專門
醫學士 石坂銈
平市六丁目 交番脇
石坂醫院
午前宅診 午後往診

萬年筆は專門店へ
事務に!!! 進學に!!! 御祝に!!!
㊣2.00以上
岡萬年筆專門店
平市中央通り

被服の經濟と衛生と技術とに責任を持つ
ドライ.クリーニング店は
諸官省、各會社、一般御家庭御用達
最新式の機械完備せる
永山式特許第四七四一號登錄
福島縣衛生試驗所第四八六號公認……
全國洗染クリーニング業界技術指導責任者
あらゆる衣服の整理に物理化學を應用
專門業者用最高級新洗濟を應用
……常に先端を行く
關西洗染協會顧問 永山眞彥
永山洗染舖
平市大町電（呼）三六〇
サボネツクス.トリクロールエチレン
大阪酸水素株式會社專門業者用新洗濟
東北業界共配代理

迷ふな流言漏らすな機密
防諜週間
自五月十二日 至五月十八日
只今マルトモと當店に參考寫眞陳列

只今お買德品陳列
大黑屋の初夏の御案內
晴雨傘と婦人ブラース
子供帽子と中折とヤング帽
ネクタイとワイシャツ
平市 大黑屋

初夏の薫風浴びて 猫鳴山"體錬"登攀

平山岳會の第二回登山行決定

平山岳會の本年度第二回體錬登山行軍は十八日の日曜日に決行することに決定、石城の主峯『猫鳴山、屹兎屋、二ツ箭山』を踏破、大溪谷に沿うて新綠を賞でつゝ行軍、海拔八百二十七米の猫鳴山頂を極め、今を盛りの山つゝじなど觀賞しながら一日の行程を終る

◇

明日、五月十八日（第三日曜日、雨天順延）

集合、午前五時四十分までに平驛前

會費、汽車賃實費四十五錢

服裝及携帶品、服裝普通、食料は辨當二食分、水筒、平―川前五萬分地圖あれば可

◇

コース

平驛發午前五時五十四分、久の濱着六時十六分、それより筒木原まで二キロ徒歩、筒木原から溪谷傳ひに三キロ、十一時半頃猫鳴山着、屹兎屋山へ更に二キロ登行して再び猫鳴山へ引き返し、二ツ箭山へ六キロのコースをとり、小川郷午後四時二十五分發列車で歸平解散（屹兎屋、二ツ箭山は希望者で登山）

平――久の濱（二キロ）筒木原（三キロ）猫鳴山（二キロ）屹兎屋（六キロ）猫鳴山（六キロ）二ツ箭（二キロ）小川郷――平

◇一般の參加も歡迎

【參加者は前日までに常陽銀行支店內事務所電643番へ申込まれたいと】

平青壯年隊長

山崎忠兵衛氏の指名有力

理事會は支部長一任

翼賛會平支部理事會は十三日午前十時から市長室に開き理事から選任することに成つてゐる青壯年隊長問題について協議したが、互選は纒らず青沼支部長一任と決定、二十日頃までに支部長が推薦することになつたが山崎忠兵衛氏に決定するものと見られてゐる

引續き平青年隊の結成式について協議したが、興亞奉公日の六月一日を選んで行ふことに內定した、從つて各分隊はこれに先立ち二十日前後には編成を終る豫定である

トップを切つて 田町分隊結成

青壯年團活動に入る

平市田町青壯年分隊では去る十日室橋光氏を分隊長に決定、區內會長から推薦の手續きを執つたので全市分隊のトップを切り明十五日夜七時から新隊員參加藤田女學校で分隊の結成式を擧げることに決定した

田町區の新隊へ編成される該當者は百三十余名に上り前の青年團四十余名に比較すると三倍余の大世帶となるため、活動態勢上青年部と壯年部と二部制にすべしの聲があり、各分隊ともこの問題には頭を痛めてゐる

月見町の分隊長

上野光氏決定

平市月見町區內會（區長根本一馬氏）ではこの程常會を開き上野光氏を青壯年分隊長に推薦市へ報告した

小名第五回 町常會

翼賛体制整ふ

小名濱町第五回町常會は十一日傳達、報告、臣道實踐への街道をヒタ押しに進んでゐる、當日上程した案件は傳達四件、報告一件、協議案五件である

閑院宮殿下

御機嫌麗はしく御通過

閑院宮載仁親王殿下には東北地方御視察の途次、既報の如く今十四日午後一時四十分、特別臨時急行列車にて平驛御着、長途の御疲れも無く御機嫌いと麗はしく、八分間御停車同一時四十八分仙台へ向はせられた

驛ホームには青沼市長代理伊藤助役初め奏任待遇以上の市內各中小學校長、區裁判所長、檢事、營林署長、稅務署長警察署長等御送迎申上げた

節米と榮養

渡邊教化村で講習開く

教化村指定の渡邊村では『節米には先づ榮養を……』と十一日から十六日まで共同炊事その他の榮養講習會を開いてゐるが平保健所から榮養指導員が出張代用食を指導してゐる

尚ほ赤井村でも同樣講習會を開くことになり保健所へ榮養手派遣を依賴して來た

四倉商報會 青年隊

三ツ森山へ登山

四倉商業報國會青年隊では明十五日の公休日を期し体育錬成の爲双葉郡の三ツ森登山を決行する。一行約八十余名で午前七時諏訪神社前集合朝禮式を擧げ同七時三十分社前を出發同日午後四時歸町の豫定である

轉任巡査 銃後會寄附

小名濱町定西駐在所より平本署特高へ轉出した芳賀巡査は本町銃後奉公會へ金貳拾圓を寄附した

全國に覇を競ふ 京都…大演武會

磐城劍士の氣を吐く

大日本武德會主催第四十五回大演武會は八日より三日間京都武德殿に開かれたがうち本郡よりの劍道參加者の成績次の通り（○印は勝ち、×印は引分け）

○（飯野）須藤 肇

（兵庫）堤 唯雄

（平）藤井 一

○（大阪）野田 磯吉

【教士の部】

○（平）鈴木 忠正

（岐阜）坂井 賢一

【四段の部】

○（內鄉）荒井喜一郎

（愛知）釜堀 政雄

【錬士の部】

（平）増尾 孝介

○（大阪）山口 薫

○（靜岡）細谷國三郎

（平）鈴木 三郎

（新潟）鶴田 甚七

○（平）桐原 英純

○（高久）薬谷久太郎

（大阪）川口 一孝

×（內鄉）圓谷 乘廣

×（島根）富止 鶴藏

三田小路

廢品回收寄附

平市三田小路常會では十四日廢品回收し得た金六圓を助成會へ寄附

上平窪常會

青壯年結成協議

平市上平窪常會は昨十三日上岡部直久氏宅に開き市側から柳沼書記が出席青壯年隊結成に關して懇談した

今月下旬頃から 合成酒愈出廻る

市場の酒不足幾分緩和さる

合成酒造組合では既報の如く清酒不足の緩和策として合成酒の釀造に平、小名濱、植田、高久の四方部釀造業者がそれ〴〵合同して着手したがその後順調に進みこの分で行くと早くも今月下旬頃から出廻り六月中には今年度見込み數の百五十石が釀造される

石城酒釀造は今年初の試みであるだけに平稅務署でも品質には相當期待してゐるがこの合成酒百五十石は何れも郡內消費に當てる計畫でこれにより緩和された清酒は酒の不足勝ちな郡外に移出する

尚ほ合成酒の品質について稅務署の話『品質は原料が酒粕でありますから清酒程には參りませんが第一回の釀造ですから來て見なければ判つきりとは申上げられませんが釀造家の話では順調に進み。品質にも自信あるやうです、清酒の外に百五十石も新たに出廻るのですから酒不足も今度こそ緩和するでせう』

産馬總代

廿三日選擧執行

石城産馬畜産組合の總代會議員選擧は二十三日次の各區で執行する

△一區、田人校（五名）△二區、澤渡校（四名）△三區、小川校（二名）△四區、川前校（二名）

平の今昔

當初の計画反對が 平の發展障害

お濠の跡は列車運行毎に地震

【十七】

處が一度この計畫が發表されるや平はじめ沿線の各町村は汽車の煙りのため病人が出來る農作物が枯死すると現在の平小鐵道騷ぎとは全然反對の敷設反對運動が猛然として捲起つた。

輿論は遂に勝を占めたと言ふのだらうか、會社側は止むなく最初の計畫を變更して、現在吾々が恩澤にあづかつて居る路線が實現された譯だ。

もしこの路線が最初の計畫通り行はれて居たとしたら殘通り路線で現在陳情や奪取運動に總親和を傷ける樣なことはなかつたらうと及ばぬ愚痴もこぼしたくなる。

平驛にしても最初の計畫では谷川瀨の山の下を通過する計畫だつたものが、これまた激烈な反對に遭つて、やむなく城趾のお濠をわざ〳〵埋め城壁を切り崩して路線及び驛舍が建設された。

若しそれ最初の計畫通りに事が運んで居たら今煤煙と騷音の中にある物見ヶ丘一帶の舊城趾は昔の名殘りをそのまゝに眺望絕佳な公園地として靜心なき都市居住者に無限の愉悅を味はゝしめて居たに違ひないし、昭和十一年六月平窪村を合して人口三萬五千やつと市制を布いた平市はそのもつと〳〵以前に現在の平商一帶の田圃は人家にうづまり市制が施行されて居たゞらうとは誰でも思ふ所だ、しかも現在の驛や構內の路線敷設は鐵道工事中での難工事で莫大な費用が投ぜられた。

舊外濠などはいくら埋めても濠が深くて長さ十間位の杭でさへ、ブスリ〳〵と入つて仕舞つたと言はれ最近でもこのため地盤が沈下したり穴が明くと言ふ始末だと言ふ。

さて泣き言はこの位にしてこれはその工事で持ち上がつた笑へぬ信仰後日物語りだ、平驛開設に當つてお濠の埋立てと一緒に丘上に稻荷神社が祀られて居る。舊城趾物見ヶ丘の一角も切り崩さねばならなくなり、南方正面にあつた參詣登山口は左手即ち現在の處につけかへられた。若しもお使ひ狐の穴でも誤つて埋める樣なことがあつたらと心配の中にも工事は無事完了したがさて其後驛構內で事故があると"こいつはお使ひ狐の祟りだ"とエンジニヤを以つて任ずる鐵道員も俄に佛心を出し何時の頃か同神社の御分靈を驛構內機關庫のそばに奉遷、歷代驛長は驛員一同を代表して、月に一度必ず參拜する外毎日遙拜をやりねんごろにその御神靈を慰めて居ると言ふ話だ。

平地方の鐵道建設主任だつた人は其後技監にまで昇進した工學博士長谷川謹介と言ふ人でその假住居として當時建てた家と言ふのが現在の平驛長官舍だ、平屋建約二百坪もあるが、その屋根は他の官舍が全部瓦葺なのに昔のまゝの粗末なトタン屋根となつて居る。

平驛の初代驛長は熊城愼之氏と言つて明治三十年二月二十五日に赴任、二代が今三三郎氏、三代深尾喜久氏、四代渡邊武氏、五代熊城愼之氏が二度の勤めをし六代が齋藤貢氏、七代福富孝鎮氏、八代吉川良太郎氏、九代吉澤小太郎氏、十代大竃保氏、十一代鎭目利三氏、十二代新利雄氏、十三代豐崎治助氏、十四代脇楠清吉氏、十五代後藤讓氏、十六代山崎花郎氏、十七代目立板信勝氏である。

大浦村

助役收入役改選

大浦村役場助役渡邊周平氏並に同收入役酒井良造氏の兩名は來る三十日を以て任期滿了なるため二十三日午前十時村會を開き後任を推薦するが兩氏共再選される模樣である

勿來助役

渡邊氏就任

勿來町會は十二日役場に招集、同町九面渡邊禮五郎氏が助役に就任

小名の火事

小名濱町田中權次郎氏所有鯔工場は既報の如く十二日夜半燒失したが、原因は本町泉通運小名濱出張所貨物自動車助手作浪輝（一九）の過失による失火と見られ一件書類は檢事局に廻付された

職場の"磐城魂"

『家が戀しく泣いた事もあつた』 信念語る少年戰士

平國民職業指導所では遠く京濱方面の工場に"少年戰士"として產業報國の第一線に働く今春卒業の若人を激勵すべく立澤所長の名で去る三日郡內に働く人々へも一人洩なく慰問文を發送したが早くもこの禮狀が"石城ッ子"の意氣も高く毎日三四通の通信がある、元氣な通信のなかから東京市品川區某軍需工場に働く杉本三郎君の職場に於ける"磐城魂"を聞く

お手紙拜見致しました、今般所長殿には心强い便りされ感謝にたへません、私が東京に來た時は家が戀しくて床の中で泣いた時もありましたが今では大部馴れて來ました、私は主人や先生の言ふ事をよく聞いて立派な熟練工になるつもりですそして外の縣の人に負けない樣に立派にやると思ひます、私は所長の手紙を見た時家に歸りたい氣持はなくなりました、唯だ國家の爲會社の爲に働く事を嬉しく思ひます……

藝妓屋組合も 二十圓寄託

本社の慰問班に共鳴昂る

平市の新田町花柳界では本社の白衣勇士慰問計畫に贊意を表し、さきに滿洲の第一線の慰問使節花柳、杵屋兩師匠並に金太郎、〆子、えくば、歌丸さん等が十五圓寄託、引續き三味線師匠杵屋十茂松、同十久松さんが五圓寄託するなど擧げて共鳴してゐるが、藝妓組合側でも『默視出來ない』と協議の上今十四日仲家、吉野家兩代表が本社を訪問

慰問費用の一部に充てて下さい

と二十圓寄託された

揚繰網 夏網出漁

漁夫失業對策に

『濱の米』として漁場を賑した鰛揚繰漁業も四月のお祭を契機として休漁に入り一段落を告げたが更に夏場には小揚繰に出直すのが例となつて居り小名濱町では今夏大揚繰で出漁するのは三代龜太郎氏所有船のみで小揚繰では傚助、寳生院、金太郎、酢屋等が出漁し閑散期に地元漁夫の失業を防ぐ意味も含み、漁そのものには夏季は大きな期待は掛けないものゝやうである

赤井日曹 恤兵献金

赤井村日曹常磐炭礦長谷川合宿所半島人今田幸石君は十四日平署を通じ陸軍恤兵部へ十圓献金

☆

同長谷川合宿所半島人大川次達君も同樣金五圓を陸軍恤兵部へ

☆

赤井村日曹炭礦部落會第二班では廢品回收した金四圓十錢を十四日平署の手を通じ國防献金した

みんなで防げ 第五列潜入

防諜標語

石城、平聯合 女教員會

十八日第二校で

平市並に石城郡聯合女教員會では十八日午前九時より約三百名參集平第二國民學校講堂に開く、縣からは水野視學、女子師範附屬主事武山幸助氏が臨席する

供養の寄附

公共團体へ百圓

大浦村大字狐塚農佐山甚之助氏は四男宗市君（二三）が名譽の戰死を遂げ來る十七日村葬を執行するにあたり供養のため金百十圓を左の諸團体へ寄附した

△三十圓、大浦國民學校△二十圓、國防婦人分會△二十圓、在鄉軍人分會△十圓宛、同警防團、銃後奉公會、大浦青年學校、青年團

鈴木一等兵

十七日好間村葬

好間村中好間出身陸軍一等兵鈴木力君の村葬は十七日同村第一國民學校で執行する

丼飯協議

飯食店組合總會

平飲食店組合第三回總會は十七日正午より福島無盡支店二階に開催規約變更、十五年度決算、豫算を協議する

尚ほ同總會で丼皿類の御飯統一の問題も審議する筈である

平局でも

防諜講演

平郵便局では明十五日午後三時より吏員宿直室に局員、技術員、市內各員が參集、平署から係官が出席して防諜講演會を開催する

警防團長招集

週間第三日目の催し

防諜週間第三日目の今十四日平署では管內の警防團長を招集午後一時半から平署會議室で前日同樣防諜に關する指示注意を行つた

明十五日は午前十時から武德殿に於て管內料理店、飲食店、カフエーなどの店主を集めて防諜思想の皷吹に努める

◎◎◎◎◎◎◎◎◎ 白衣勇士慰問班寄附

金二十圓、平藝妓屋組合

合計六十七圓

映畫界

平館 ◎松竹映畫佐野周二、上原謙、田中絹代、桑野通子主演「元氣で行かうよ」◎日活映畫嵐寛壽郎、澤村國太郎、美ち奴、志村喬主演「右門江戶姿」◎ニュース

世界館 ◎大都映畫阿部九州男、本鄉秀雄、中野かほる、城木すみれ主演「お小夜悲願」◎新興映畫山口勇、加賀邦男、眞山くみ子、平井岐代子主演「新生の歌」◎新興映畫大友柳太郎、歌川絹枝主演「鐵火ぐるま」◎ニュース

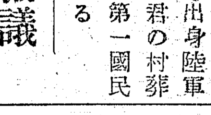
平市慶弔録

【婚姻】△平市大字平窪字四左エ門百十五番地坂本末子（三）さんと飯野村大字北白土小野一義（三九）さん△平市大字平下窪六角一番地佐藤義平（三八）さんと平市大字下平窪字四左衛門吉野ハル（三七）さん△平市字仲間町五十四番地佐藤種三郎（三六）さんと東京市荒川區南千住町大澤歌子（三四）さん

【出生】平市搔槌小路五番地仲居美一次女暢子さん

【死亡】平市白銀町二十二番地小柳惇（一）さん▲平市胡摩澤百十四番地大方慶助（六七）さん▲平市古鍛冶町三十八番地三瓶三和子（一）さん▲平市古鍛冶町三十番地酒井カツ子（一）さん▲平市南町十七番地小林ヒロ子（一）さん▲平市北目町十一番地馬場増太郎（七六）さん

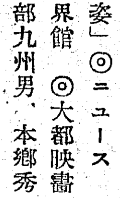
商況



（十四日）

	高	安
【野菜】		
人參	四〇	
フキ	七〇	五〇
筍	八〇	
ニラ	一二〇	
葉玉葱	二三	
大根	三二	二〇
カブ	四五	三五
水菜	六五	
【鮮魚】		
中アジ		二〇、〇
壜ニシン		八六
アンコ		四〇
平目		〇四
ムシ		二二

天氣豫報

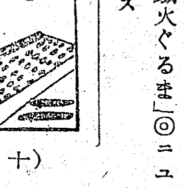


（十三日）

今晚 北西の風一時曇りますが後晴れます

明日 西の風大体晴れ勝ちの天氣です

滿潮 前五、五三 後八、二三 干潮 前〇、一三 後一、一五



木曜 癸亥 大安 破 井宿

舊四月二十日 新五月十五日

▲一白 好機を掴みて直進せらるれば大發展を遂ぐ ▲二黑 人の妬みを受けて邪魔せらる誠直なるに吉 ▲三碧 岐路に立ちて迷ふ如し時を經るも人を待て ▲四綠 義理を忘れて利慾に眩惑されぬ樣注意せよ ▲五黃 智者の智に誇りて自ら苦む如き日爭訟注意 ▲六白 自ら死地に臨むの危險あり實直に定業守れ ▲七赤 悲哀重り至る日判証文などにて間違を生ず ▲八白 投機心を起して意外の損失を生ずる事あり ▲九紫 勞苦に耐ゆれば他の救ひありて目的成就す

小名濱唯一の 味の店 おでん 小料理 寳來 味の店

電話 増設 No.139 釜屋商店電氣部 電話 No.631

漁業用 竹織ロープの出現 漁業用『竹織ロープ』の販賣を開始する事になりました。本品は竹の纎維で製造し長期間海水中にあるも腐らず、そして强靭性を増加し『マニラロープ』と[illegible] 陸海軍の御用[illegible]され當町某船[illegible]し近く納入す[illegible]非御用命仰付[illegible] 漁業用竹織ロープ東北地方一手販賣特約店 丹野純一郎商店 小名濱町上横町二四

◎中古純綿◎純毛掘出し物 縞◎正紺絣◎絣絵色、紋平 メリヤス◎ヂャンバー◎ズボン オーバー◎布團類◎作業服 ◎洋服類 平市二丁目角 伊關呉服店 電話三三二番

內科 小兒科 外科 性病科 看護婦及び女中募集 院長全快診療に從事 高久病院 院長 高久 忠 副院長 赤羽 雄 藥局長 佐竹 菊清

乘合 貸切 馬車御案內 乘合區間 平―夏井間 平發午前七時 午前九時、午後一時、午後四時の四回 貸切馬車 運行は朝の六時から夜間は十時まで 料金市內七十錢 市外四キロ一圓五十錢 大河原トラック部 同 乘合馬車部 平市大町 電話五七六